Ⅳ　研修部

１　令和５年度　研究全体構想図

学 校 教 育 目 標

夢いっぱい　未来を切り拓く　上小の子

【目指す子ども像】

①「なぜ？」「やってみよう」などの思いをもち、進んで学習活動に取り組む子ども
②学習の見通しをもち、主体的に課題を解決しようとする子ども
③比較・検討しながらよりよい考えを追究する子ども
④自らの学びを振り返り、次の学びへつなげる子ども

研　究　主　題

自ら考え、伝え合い、学びを深める子どもの育成
～数学的な見方・考え方を働かせ、
協働的に学ぶ子どもを目指して～

【研究の仮説】

Ⅰ．子どもの思考の流れを意識した単元・１単位時間の授業を構想することで、主体的に学ぶことができるのではないか。
Ⅱ．話し合い活動の目的を明確にし、数学的表現を柔軟に用いて、論理的に説明し合う場を設けることで、対話的に学ぶことができるのではないか。

具　体　的　施　策

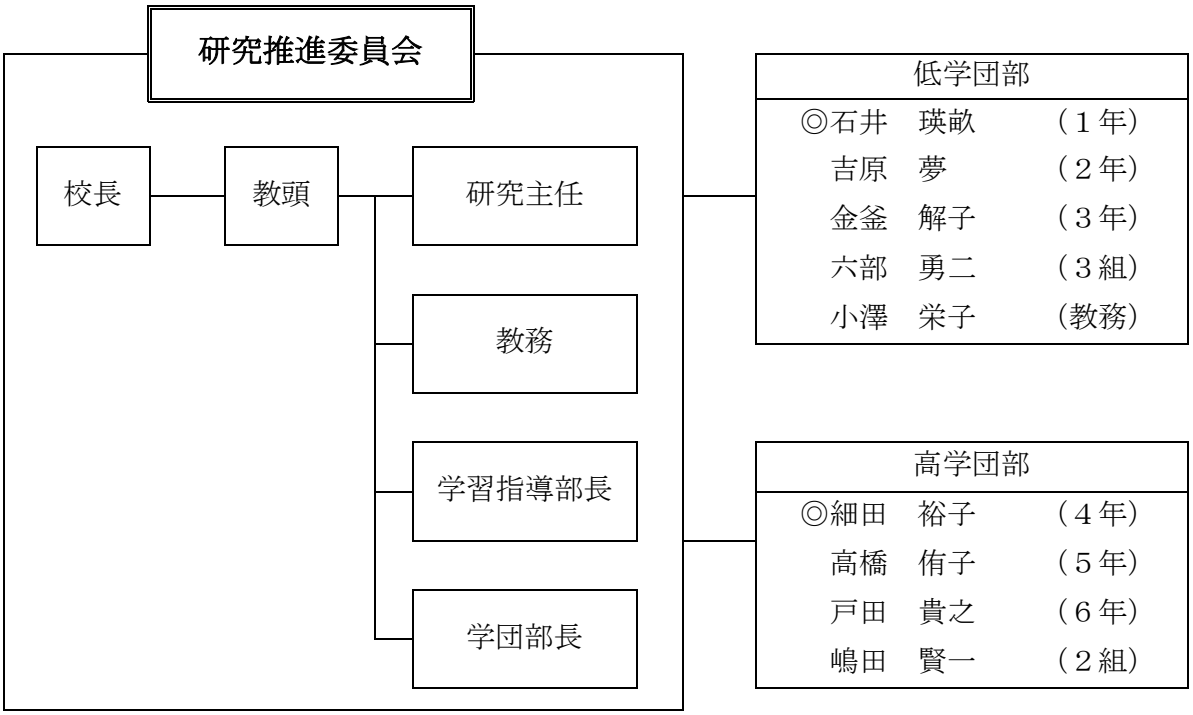
【共通実践事項】

□上小スタンダードの活用　□ICT の効果的な活用　□単元評価問題の活用
□子ども授業参観　□学習コーナーの充実　□カッシータイムへの取り組み

重　点　実　践　事　項

Ⅰ．自ら考え、主体的に学ぶ子ども育成	Ⅱ．対話的に学びを深めるための力の育成
○必要感のある問題の提示 ○見通しのもたせ方の工夫 ○問題解決の過程と成果を自覚するための振り返り	○「学び合い・話合い」の目的や視点の明確化 ○数学的な表現の活用 ○学び合いのコーディネート

２　研究組織



３　年間研修計画

月	研　修　内　容	学力向上施策
４	・全体研修会（職員会議における研究全体計画の共通理解） ・具体的な取組みの提案・推進 ・指導案の形式の確認、検討	・全国学力・学習状況調査
５		
６	・北教育事務所指定訪問「算数科」授業研究会（４年）	
７	・一中学区連携研究会（会場校：　城西小）	
８	・大館市教育委員会訪問「幼・保・小連携」研修会 ・全体研修会（伝達講習）	
９	・特別支援学級実践研修（２組） ・通常の学級実践研修（３年）	
１０	・北教育事務所指定訪問「家庭科」授業研究会（５年）	
１１	・北教育事務所要請訪問「算数科」授業研究会（１年・６年）	・パワーアップタイム（４～６年）
１２		・県学習状況調査（４～６年）
１	・１年間の取り組みの成果と課題 ・研究のまとめ、今年度の振り返り ・学団部会研修(県学習状況調査の結果分析について)	・ＣＲＴ検査（１～６年） ・県学習状況調査の結果分析
２		・県学習状況調査の事後指導 ・ＣＲＴ検査の結果分析、　回復指導
３	・全体研究会（次年度構想）	